

あわじ環境未来島構想の推進

～生命(いのち)つながる「持続する環境の島」をめざして～

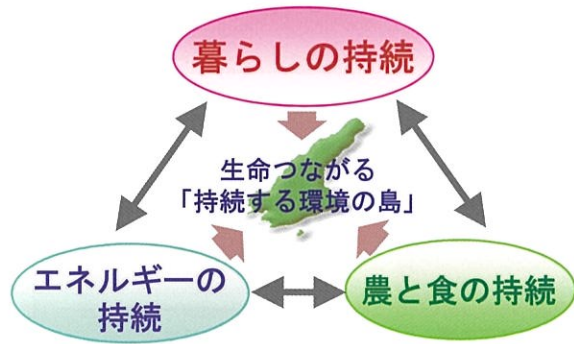


「国生みの島」「御食国」と呼ばれ歴史、自然、食など豊富な地域資源に恵まれた淡路島で、持続可能な地域社会モデルを住民、NPO、企業、行政が一緒になって生み出していこうとする取組を推進しています。

これまでの都市中心のまちづくりから、地方が主役となる「まち」から「むら」への未来モデルとして、国生みの島“淡路”から全国に発信していきましょう。

取組の3本柱と地域の将来目標

(2019年4月現在)



	成果指標(抜粋)	取組当初(2010年)	淡路島現状(2017年)	2050年の目標
エネルギーの持続	エネルギー(電力)自給率	8%	31.30%	100%
	二酸化炭素排出量(2012年対比)	▲2.5%(2013年)	▲11.2%	▲30%
農と食の持続	新規就農者数	36人/年	72人/年	80人/年
	再生利用が可能な荒廃農地面積	521ha	339ha	261ha
暮らしの持続	生活満足度(幸福度)	45.0%	68.5%	90%
	持続人口(定住人口+交流人口)	17万4千人	16万7千人	16万8千人

地域活性化総合特区に淡路島が指定

2011年12月に淡路島が国の地域活性化総合特区の指定を受けました(あわじ環境未来島特区)。あわじ環境未来島構想に盛り込んだ諸事業のうち、総合特区事業として位置づけた事業については、総合特区制度の支援措置を活用して推進します。(あわじ環境未来島特区については、2022年3月末まで期間延長されました)



エネルギーの持続

主なプロジェクト

大規模太陽光発電所の整備



大阪湾岸に埋立土砂を供給してきた広大な土取り跡地等を再生し、21世紀の地域持続を支えるエネルギーを供給
(場所：島内各所)

ユーラス津名東ソーラーパーク33.5MW(淡路市津名の郷)



県が「住民参加型県民債」を発行して県民から資金を集め、太陽光発電事業を実施するモデル事業を実施

住民参加型くうみ太陽光発電所0.95MW(淡路市岩屋)

EVアイランドあわじの推進

環境にやさしい電気自動車(EV)の普及に取り組む「EVアイランドあわじ」を推進



EV「あわモビレンタカー」



EV用充電器設置箇所マップ

家庭用蓄電池の導入促進



家庭用蓄電池システム

島内でのエネルギーの地産地消を図るため、太陽光発電設備を備え、蓄電システムを導入する住宅に対して設置費用の一部を補助

「あわじ竹資源エネルギー化5か年計画」の推進

「あわじ竹資源エネルギー化5か年計画」に基づき、島内に豊富に存在する竹資源を、あわじ環境未来島構想の一環で、バイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大を防止

(島内全域)



放置竹林



竹チップ加工工場



竹チップボイラー

農と食の持続

主なプロジェクト

「チャレンジファーム」による人材育成

(株)パソナグループが開発した「チャレンジファーム」の充実を図るとともに、修了後の就農や地元定着に向け、耕作放棄地の活用や就農支援等を一体的に実施
(場所：淡路市)



南あわじ市あわじ島まるごと食の拠点施設の整備促進

「食を核とした都市と農村の交流拠点」をコンセプトとして、淡路島の豊かな食材をまるごと味わう、買う、体験する施設を整備
(場所：南あわじ市)



みなこいこいや
直売所・レストラン(美菜恋来屋)

農を主軸とした地域再生の担い手を育成する大学学部との連携

平成25年4月に開校した吉備国際大学農学部と連携し、農業をはじめとする地域産業の振興への貢献などを通して、地域の再生に寄与する人材を育成
(場所：南あわじ市)



農と食の体験ツアー

農と食に関心のある親子を対象に農業生産法人への現地見学や、旬野菜の収穫等の農業体験を盛り込んだツアーを実施



レタス収穫体験(南あわじ市神代)

暮らしの持続

主なプロジェクト

【高齢者の健康・居場所づくり】

高齢者の歩く力を高め、閉じこもりの予防を目的として、おもりを手首や足首につけて行う「いきいき百歳体操」を県、市、介護保険事業者他が実施主体となり、全島で推進



洲本市中心市街地における複合型福祉拠点の整備

旧県立淡路病院の跡地を活用し、高齢者や障害者が安心して暮らせ、地域の見守りの拠点、地域住民との交流拠点等の機能を有する複合型福祉拠点を整備(場所：洲本市)



整備イメージ

洲本商店街を中心とした地域活性化

商店街にある古民家を改修し、地域の方が集う食堂や、交流イベントが開催できるレンタルスペースを開設。子どもを中心に地域みんなでごはんを食べる「みんなでいっしょにごはん」、地元の無農薬・有機野菜を販売する「淡路島まちかどマルシェ」等を開催し、地域が地域を支えるしくみづくりに貢献



YORISOI米田屋

総合的な取組

主なプロジェクト

あわじ環境未来島構想推進事業

住民グループ、NPO、企業、行政等が協働し、構想に沿って実施する先導的・モデル的な取組に必要な経費を補助(兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市)



空き家を改修した観光拠点「吉甚」
(場所：南あわじ市沼島)

あわじ環境未来島見学セミナーの開催

取組が進む各プロジェクトの現地を実際に訪れる体験、見学セミナーを開催



あわじ環境未来島構想推進協議会の運営

住民、地域団体、NPO、行政等が幅広く参画し、多様な主体の協働により構想を推進